

## 樽前山の火山活動解説資料

札幌管区气象台  
火山監視・情報センター

樽前山では、本日 14 時 24 分頃に火山性微動が発生しました。微動の発生後、火山性地震のやや多い状態となっています。また、微動の発生時間帯に、わずかな南上がり（山上がり）を示す傾斜変化が観測されました。噴煙の様子に変化はみられません。

A 火口及び B 噴気孔群では高温の状態が続いており、また、山頂溶岩ドーム付近の局所的な膨張を示す地殻変動が 2006 年以降継続しています。

噴煙活動は低調な状態ですが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・ 地震・微動活動の状況（図 2、図 3）

本日 14 時 24 分頃に火山性微動が発生しました。継続時間は、約 40 秒、最大振幅  $0.6 \mu\text{m}$ （C 点）でした。火山性地震は、微動の発生後、やや多い状態となっており、17 時 00 分現在で 37 回（暫定値）発生しています。樽前山で火山性微動を観測したのは、2009 年 9 月 25 日以来です。

#### ・ 噴煙の状況（図 4）

噴煙の状況は、北海道が美笛に設置した遠望カメラ（山頂の西北西約 10 km）では微動発生時に特段の変化は見られませんでした。空振計の観測では、噴出を示すと考えられる記録は認められませんでした。

#### ・ 地殻変動（図 5）

傾斜計による観測では、C 点（山頂ドームの北約 1.5 km）の傾斜計で微動が発生した時間帯に、わずかな南上がり（山上がり）を示す変化が観測されました。

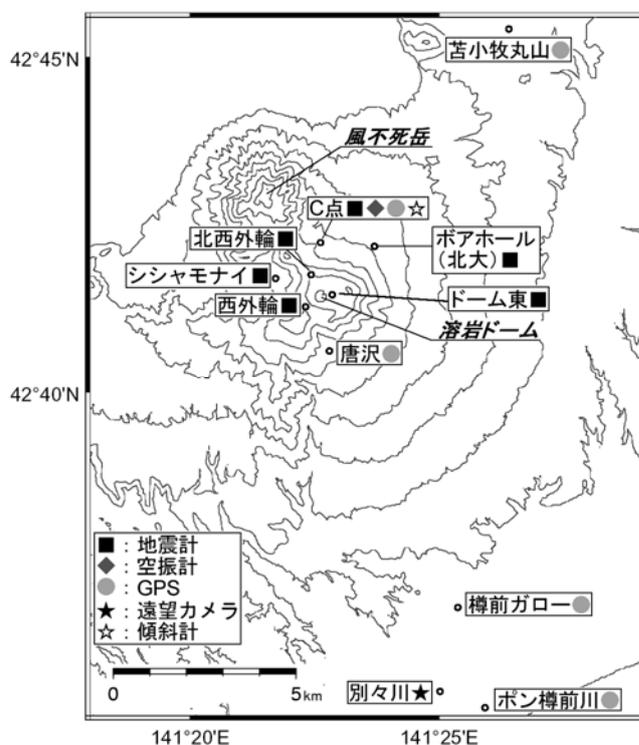


図 1 樽前山 火山観測点配置図

※ 資料は気象庁のほか、北海道大学、独立行政法人産業技術総合研究所、北海道立地質研究所のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

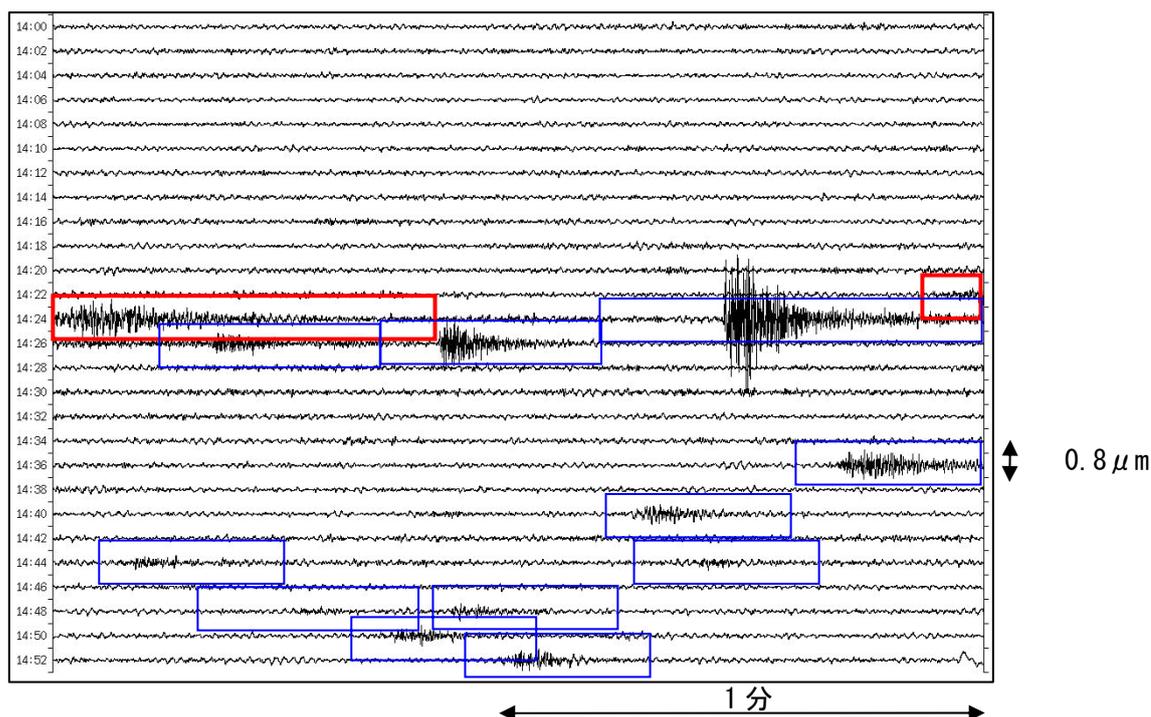


図2 14時24分頃の火山性微動の波形（樽前C点東西成分10月16日14時00分～14時54分）  
 ・14時24分頃から約40秒程度の微動が発生しました（赤枠）。その後火山性地震（青枠）がやや多い状態となっています。

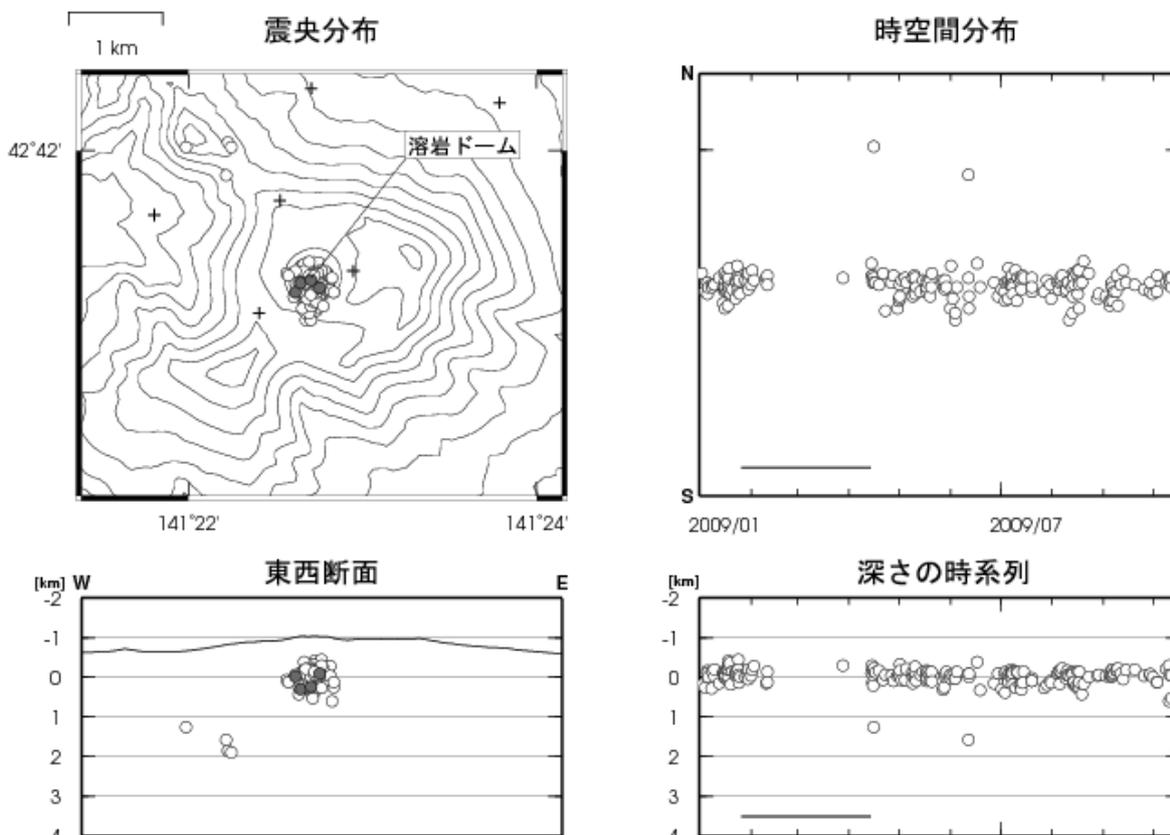


図3※ 樽前山 震源分布図（2009年1月～2009年10月16日16時現在、+は地震観測点）

表示期間中、2009年1月26日～4月13日の期間は、一部観測点欠測のため震源決定数が減少し、精度も低下しています。

- 印は10月16日の震源、○印は2009年1月～10月15日までの震源
- ・10月15日までの震源は山頂火口原内の溶岩ドーム直下のごく浅い所（山頂から深さ0.5～1.0km付近）に集中しています。本日発生した地震の震源も概ねこの領域内に分布しています。



図4 美笛カメラ（北海道設置）による15時10分頃の樽前山の状況  
・噴煙の状況に変化は見られません。

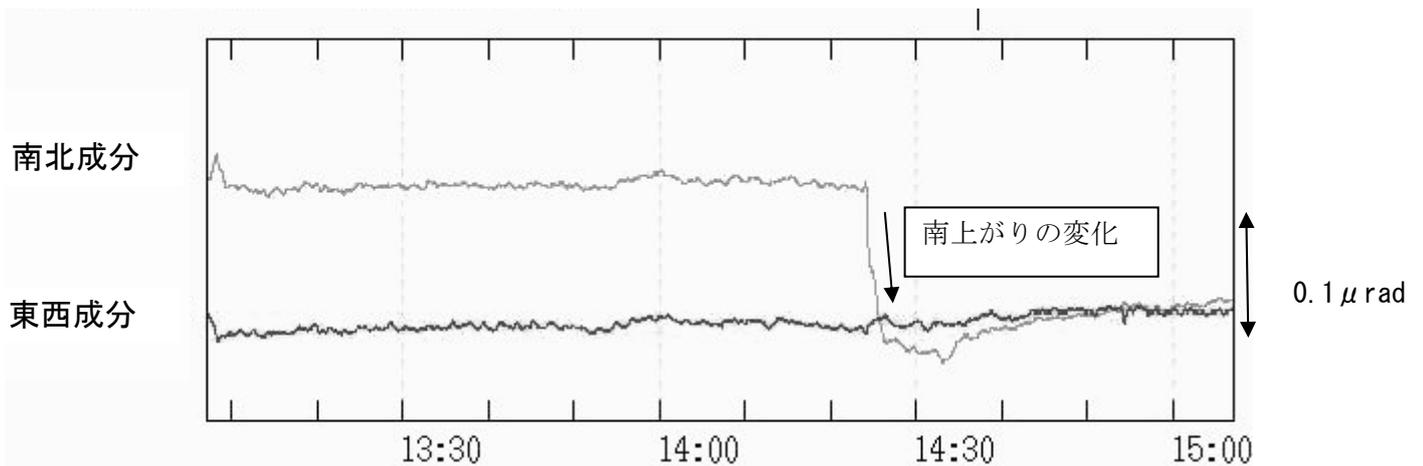


図5 C点（山頂北側）に設置した傾斜計のデータ（10月16日13時から15時）  
・微動が発生した時間帯に南上りの変化が観測された。

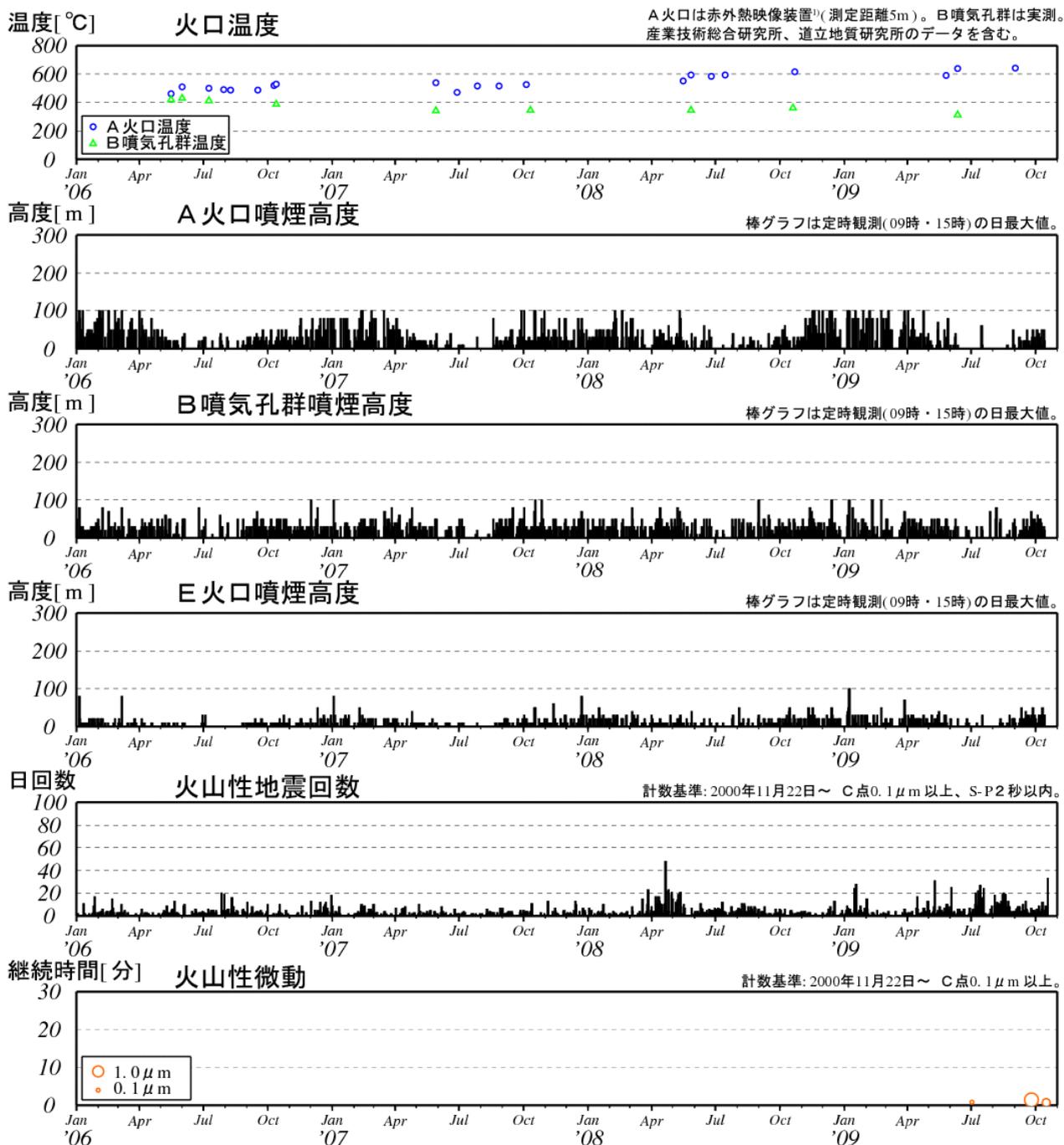


図6※ 樽前山 最近の火山活動経過図 (2006年1月～2009年10月16日17時現在)

- ・ A火口の温度は1999年以降、B噴気孔群の火口温度は2002年以降高温の状態が続いています。
- ・ 最近の地震活動は2008年3月下旬から5月中旬にかけてやや活発となりました。
- ・ 2009年7月2日に1回、9月25日に2回、10月16日に火山性微動が発生しました。